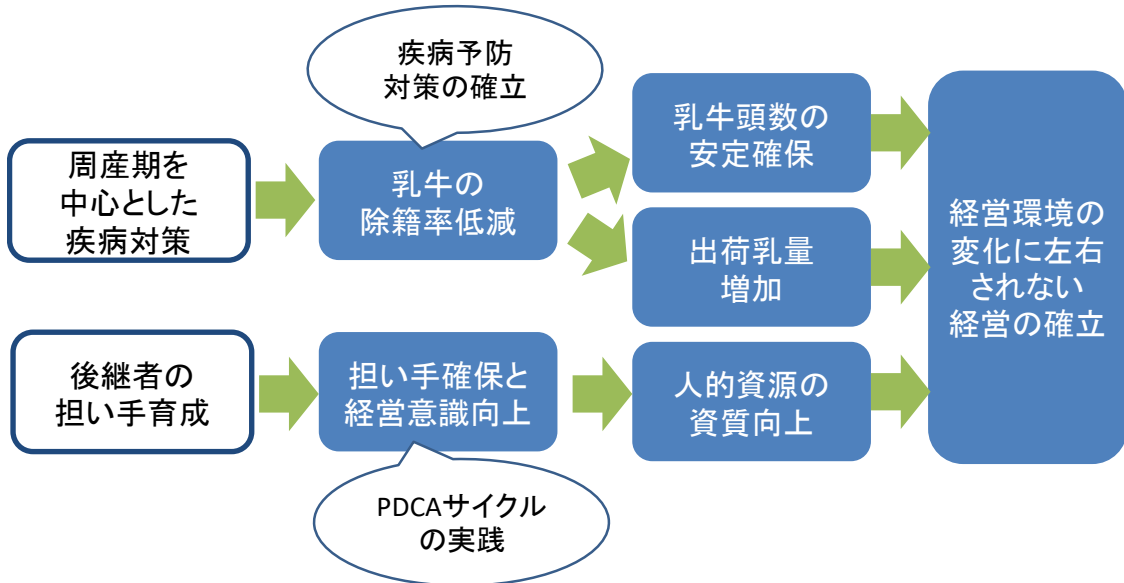


健康な牛づくりで健全な酪農経営

(中標津町当幌)

1 課題の背景*****



2 活動の経過*****

疾病低減による生産性向上

- (1) 飼養環境の改善
- (2) 管理作業の改善
- (3) 良質粗飼料の確保
- (4) 飼料内容の改善

後継者を中心とした担い手の育成

- (1) 乳牛飼養管理の研修・実践
- (2) 良質粗飼料確保に向けた研修・実践
- (3) 経営継承に向けた営農・投資計画の検討

各戸の事情に合わせて改善策をオーダーメイド

3 活動の成果*****

(1) 疾病低減で改善効果が数字に現れた主な事例

A

牧場

乳房炎の発生予防で出荷乳量が増加

- (1) 敷料投入機の導入で牛体衛生が向上
- (2) 乳房炎の発生が減少し、乳質が向上
- (3) 乳房炎による除籍が減少し、頭数と出荷乳量が増加

	H28	H29
出荷乳量	100	109
個体乳量	100	103

H28年 除籍率 29% → H29年 14% (目標値20%) 目標クリア

→

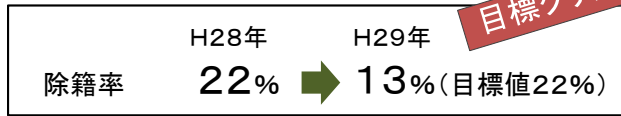
改善前
改善後

B
牧場

蹄病の発生予防で出荷乳量が増加

- (1) 牛床マットの交換で横臥時間が増加
(蹄を休ませる時間が増加)
- (2) 分娩60日前までに必ず割蹄を行うことで、
分娩前の採食量が増加
- (3) 分娩後の疾病が減少し、出荷乳量が増加

	H28	H29
出荷乳量	100	115
個体乳量	100	100



左腹の張り改善



その他

約7割の農場が何らかの改善にチャレンジ

- (1) 飼養環境の改善 : 56%
- (2) 管理作業の改善 : 39%
- (3) 良質粗飼料の確保 : 61%
- (4) 飼料内容の変更 : 61%



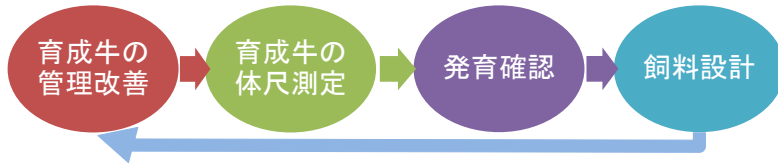
乾乳前期群に寒冷紗を設置して暑熱対策を実施した事例



暑熱対策で換気ファン増設した事例

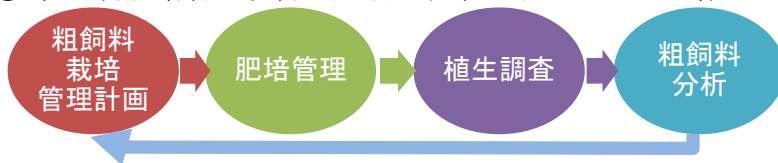
(2) 後継者を中心とした担い手の育成

① 育成牛飼養管理改善で、初産分娩月齢2ヵ月短縮に相当する良好な発育を達成



育成牛の体尺測定

② 粗飼料肥培管理改善の実践で牧草比率28ポイント増加



植生調査

③ 20・30代の後継者のうち71%が経営継承し、投資を検討

